

団体名	民設学童保育を支える会 ①
現場確認日	平成22年10月4日(月)
出席	工藤行雄委員、西尾宣子委員、手塚明美委員
事業の内容	民設学童保育所の支援事業
補助金額	50,400円



コメント

民設学童保育を支える会の活動も3年目に入り、3名だった会員も10名近くになり活動の幅を広げる段階になっています。

今回の補助金の対象は神奈川県で行われる『子ども支援者養成講座』への会員の受講支援であるため、今回の活動現場確認は、現在、二宮町において民設学童保育を行っている会の代表宅《トトロの巣》で会員と町民活動推進委員による意見交換会というかたちで行いました。



コメント

意見交換は、現状の公設学童保育や民設学童保育の状況などについて会の方から説明を受け、それぞれのメリット、デメリットなどについても議論しました。また、新たに民設学童保育を行うための課題や難しさなども事例を挙げながらの話も出ました。

委員からも、二宮町の子育てや学童保育の状況の質問などや会としての運営や補助金団体としての優位性を活かした活動方法などのアドバイスもあり活発な意見交換がなされました。

出席委員のコメント

- ・ 今現在、子供達が昔のように自由で活発な行動をすることが環境的に難しいと思える中で、地道な活動をされ、いかに子供達の安全を守り、心配りもなされているのを感じました。
- ・ スタッフの方々も養成講座等を受けながら、「ささえる会」として今後、発展し親御さんが安心して預けることができ、子供達も楽しめる施設になって欲しいと思います。
- ・ 代表者の民設学童保育所の支援団体のように感じた。
- ・ 今後は町や町民にもっと民設学童保育所の必要性を訴えると共に新規開設の支援活動や指導者の育成に尽力して欲しいと思う。
- ・ 子供達の縦社会が崩壊しつつある現在、学童保育所は大きな意義を持っていると思うのでこれからの活動に大いに期待します。

団体名	湘南二宮・ふるさと炭焼き会 ②
現場確認日	平成22年10月27日(水)
出席	高橋委員・澁澤委員
事業の内容	里山の再生と循環型環境保全対策事業
補助金額	206,300円



コメント

湘南二宮・ふるさと炭焼き会は、炭焼きを通して里山再生と循環型環境保全を目的に活動しています。

今回、最後になる3度目の協働まちづくり補助金を利用して手作りではあるが本格的な炭焼き窯を建設し、炭の大量生産、消費の実現に向けて動きだしています。

写真は、新たな炭焼き窯の説明を受けている様子です。

コメント

今まで、竹については、ドラム缶を活用した簡易型竹炭窯でしたが、効率性に問題があったそうです。

新たな窯では、温度管理もしっかり行い、木炭で1週間、竹では10時間で炭及び木酢液等が作れるそうです。バーベキュー用などにも炭の販売も行っており活動の原資との事です。

神奈川県の上山再生に向けた補助金も活用しており今後の二宮町の里山再生に期待が持てる活動現場確認でした。

出席委員のコメント

- ・ 里山保全と間伐材で環境にやさしい確かな町づくりへの貢献。みなさんが設計から知恵を出し合い完成させた竹炭窯。炭焼き広場でのイベントやメディア利用による販路拡大など意欲的に取り組む活動が楽しいとのお話しに素晴らしさを共感した。一方、里山作業での安全には十分心がけていただき、資金面、持続可能な組織づくりへ向けて会の自立が期待されます。
- ・ 里山再生の面では、吾妻山周辺や、二宮ブランドで策定したウォーキングコースを歩いてみても、後継者不足で放置されている竹林や雑木林が目につきます。これらに整備の手が入れば、すっきりとした見栄えの良い散策コースとなり、日帰り観光の町「二宮」のグレードもアップします。しかしこれらのコースは、一度手を入れても3、4年も経過すると、また手入れが必要であり、まさに環境保全はエンドレスな事業です。
- ・ 町に代わって、この事業を受け持ってくれる炭焼き会は、町に多大な貢献をしているボランティア団体であると言えます。さらに願わくは、生産される炭や木酢液の品質向上を図り、商品紹介、効用、使用事例等を記載したパンフを作成して二宮ブランドのラインアップの一つとして参加することを期待します。

団体名	長寿の里国際交流協会 ③
現場確認日	平成22年11月7日(日)
出席	山内委員長、西方委員
事業の内容	「長寿の里」ブラジル・ベラノポリス市との交流
補助金額	277,300円



コメント

二宮長寿の里国際交流協会は、「長寿の里」二宮町と「Terra da Longvidade<長寿の地域>」ブラジル・ベラノポリス市との友好関係を基点に、活気あふれる元気なまちづくりのため「長寿の里」をキーワードとした世界各地との国際交流のサポートを目的としています。

二宮町ふるさとまつりにおいて、ワイン等の提供や国際交流のPRの展示などを行いました。



コメント

ふるさとまつりでは、事業の1つになっているブラジル長寿の里ワイン《Veranopolis》の普及販売を行いました。ワインはポリフェノールを多く含むイザベル種のブドウから作られ、ベラノポリス市の皆さんの長寿の源と言われているそうです。現地ワイナリーのシモネット社から直輸入し、今回のふるさとまつりで二宮町の皆さんに提供し、その収益で今後の活動を展開する予定とのことです。

当日は、興味深く立ち寄る方達が、試飲を行い購入する姿が目につきました。

出席委員のコメント

- ・ 補助金を活用して完成したワインセラーの様子が、写真と解説による展示で洞くつという資源の再利用と工夫により、今後の継続的なワインの販売が可能となることが良く理解出来ました。
- ・ 昨年、今年と「長寿の里」のイベントにお邪魔しました。賑わいがあり、また町民の関心も高かったことは良かったと思います。ワインをベースにしての事業が採算のとれるように、そして更なる多角的な活動の展開が出来るようになることを期待します。